

# 子どもの体験・教育格差をみんなで解決する活動助成事業 募集要項

## 1. 趣旨

近年子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。少子化に伴い、学校行事や体験活動の機会、部活動の選択肢が縮小し、さらに、核家族化・地域コミュニティの希薄化による、多世代交流や体験の場が減っています。コロナ禍でその流れはさらに加速し、子どもたちが多様な経験や他者とつながる機会は確実に少なくなり、コミュニケーション能力や相互理解の力が弱まり、他者との繋がりを築く力が低下しています。

徳島県は、相対的貧困率が全国でも高い水準にあり、世帯収入の制約から、教育や体験活動に十分な費用をかけることが難しい家庭も少なくありません。加えて、公共交通機関の利便性が低く、放課後や休日の活動への参加には保護者の送迎が必要となる場合が多く見られます。その結果、経済的要因に加え、移動手段や家庭の事情といった地域特有の条件が重なり、子どもたちが体験機会にアクセスできるかどうかが家庭環境によって左右されやすい構造が生じています。

子ども時代の体験の少なさや地域とのつながりの薄さは、将来の進路選択の幅を狭めるだけでなく、自己肯定感の低下や地域への愛着不足にもつながりかねません。だからこそ私たちは、子どもたちの体験・教育格差の解消を地域の重要な課題と捉え、取り組んでいく必要があると考えます。そのために、私たちは、地域社会の包容力を高め、多様な立場の子どもたちが、互いの違いを尊重しながら共に学び・挑戦できる環境を整え、さらに地域の持続的な成長を支える人材育成・基盤づくりを支援します。

本助成事業は、地域の中に「学び・挑戦・つながる場」を生み出し、子どもたちが自分らしい未来を描ける環境づくりを目指すものです。特に今回の助成では「立場や専門性の異なる団体と連携して取り組むこと」を重視しています。個人や単独の団体では越えられなかった壁も、他団体や多様な人々と連携し、さらに協働することで、新しい可能性が開けます。地域を画材にたとえるなら、連携によってこれまで存在しなかった“新しい色”が加わり、混ざり合い、豊かなグラデーションが生まれるイメージです。財団の伴走支援も加わることで、実施者自身も学び合い、地域に新たな挑戦の芽が育つことを期待しています。

この助成を通じ、子どもたちが未来への希望を広げ、大人たちも共に成長しながら、地域全体が力強く歩み出すことを願っています。

※連携とは、互いに連絡をとり協力して物事を行うこと。

協働とは、同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。

## 2. 対象とする活動

徳島県内で実施する「子どもの体験・教育格差を埋める為の活動」で、以下を満たしていること

- ・県内の未就学児・小学生・中学生・高校生を参加対象とした活動であること
- ・子どもたちの繋がりを促進する活動であること
- ・(可能な限り)多様な立場の子どもが参加できるよう合理的配慮をすること
- ・活動する団体等の連携を促進する活動であること
- ・団体が通常実施している活動ではないこと

## 3. 助成対象者

徳島県内に事務所を置き、県内で活動している以下の団体、組織であること

- ・NPO 法人等の非営利法人、地域団体、市民活動団体、教育機関、企業など(法人格の有無や種類は不問とする。)
- ・既に活動実績のある団体、または新たに取り組みを始める団体
- ・団体・事業の目的、概要、及び、活動実績がある場合は財務状況が確認できる団体(個人事業主は除く)

#### 4. 助成額

1件あたり上限 50 万円まで(10/10 助成)

#### 5. 助成予定数

2件程度

#### 6. 助成対象経費

- ・事業運営費(人件費、交通費、物品や食材の購入費等)
- ・会場等の施設使用料及び賃借料
- ・プログラム実施にかかる講師の費用(謝金、交通費)  
　※採択団体スタッフが担当する場合は対象外
- ・プログラム参加にかかる子どもの費用(教材費、交通費補助、保険代等)
- ・消耗品費、印刷費、備品費、原材料費
- ・その他、活動に必要な費用

採択されたプロジェクトの執行に関わるものであれば、助成金の使途を制限するものではありません。  
団体の恒常的な運営経費には充当できません。対象になるかわからぬ場合や、申請時から変更がある場合は、必ず事前に事務局へご相談ください。  
事業終了後、領収書等の証憑の写しを提出してもらうため、必ず保管しておいてください。  
証憑が確認できない経費は対象外となります。

#### 7. 選考の視点

- ・応募書類はすべてそろっているか
- ・申請事業が、本助成事業の趣旨や条件に合致しているか
- ・他の財源(寄附・事業収入等)では不可能か
- ・申請事業の実施に、特に下記の項目で社会的な意義があるか
  - 共創性(他団体と連携して新たな価値を生み出すこと)
  - 必要性(ニーズを把握し、反映していること)
  - 独自性(独自のアプローチがあること)
  - 実現性(成果を上げるために具体的な計画・予算・人的資源が見込めるこ)
  - 有効性(今回のテーマに沿った地域の課題解決のために有効であること)

#### 8. 助成決定から事業開始までの流れ

- ・書類による選考
- ・事務局による事前ヒアリングの実施(2026年2月上旬予定)
- ・選考会開催(2026年2月中旬予定)  
　※選考は、代表理事が選任した選考委員会が行います
- ・結果通知(2月下旬予定)
- ・キックオフミーティング(2月下旬～3月上旬予定)  
　※助成事業のオリエンテーションと成果目標の設定をサポートします
- ・助成事業の開始

#### 9. 助成金の支払い

本事業の助成金は、下記の要領で支払いを予定します。

- a. 採択決定後、申請額の8割を概算払いします。
- b. 事業終了後、精算・成果報告後、残金を支払います。
- c. ただし、事業終了時に未使用で残った助成金がある場合は返還していただきます。  
(終了後に対象外経費と認められた場合も返還していただきます。)

## 10. 採択団体にお願いすること

- ・とくしまコミュニティ財団のスタッフと月1回の面談をすること  
面談では、事業開始時に成果目標を設定し、その目標を達成するためのサポートを行います。
- ・2026年12月に開催予定のとくしまコミュニティ財団主催イベントにて、取組内容を発表すること
- ・事業終了後、1ヶ月以内に実績報告書、決算報告書を提出すること

## 11. 助成対象事業の実施期間

2026年3月1日(日)～2026年12月31日(木)

## 12. 助成申請・相談の受付期間

2026年1月8日(木)～2026年2月10日(火)17時まで

## 13. 助成事業説明会

申請に当たっては、助成趣旨への理解を深めていただくため、必ず説明会に出席するか、説明会のアーカイブ動画を視聴ください。

日時：2026年1月20日(火)20時～21時

zoomで開催します。下記ページより事前申込をお願いいたします。

### 【参加申込アドレス】

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/QEX5lpbRie0H2JmLVOUfA>

助成プログラム内容を説明した後、質疑応答の時間を設けます。  
当日の様子は、後日アーカイブ配信を行います。

## 14. 助成事業選考会

2026年2月中旬予定

## 15. 申請方法

下記の申請先メールアドレス宛に、申請に必要な資料一式を添付し、送付してください。郵送や直接持参では受け付けていません。

メールの件名は【助成申請】子どもの体験・教育格差解決助成(団体名)としてください。

【申請先メールアドレス】E-mail : info@tokukomi.org

【申請締切日】2026年2月10日(火)17時必着

### 【申請書類】

- 申請書(とくしまコミュニティ財団ホームページからダウンロード)
- 団体の定款・規約等活動内容がわかる資料(パンフレットや報告書など)
- 活動実績がある場合は、財務状況が確認できる資料

## 16. 申請先／お問い合わせ先

一般財団法人 とくしまコミュニティ財団

〒770-0932 徳島市仲之町二丁目13番地

※現在、開所準備中のためスタッフは常駐しておりません。

T E L : 090-5145-3040      E-mail : [info@tokukomi.org](mailto:info@tokukomi.org)

HP : <https://tokukomi.org>